

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	機械4年	科目コード	47011260
科目名	法学 Law				
担当教員	増尾 均				
単位数(時間数)	必選 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	現代社会は多くの法律によって規律されている。本講義では、社会を規律する法の中でも特に主要法規と呼ばれている憲法と民法を中心に事例を用い、法の果たす役割・機能等、基本的な学習を行う。そして、現代社会の抱えている諸問題の現状把握と解決方法を修得することを目的とする。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考	身近で利用頻度の高い法律を学ぶため、新聞記事等の報道に関心を払い、常に問題意識を持って授業に臨む必要がある。				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	法と社会のかかわり	2	法と社会のかかわりを具体的に理解できる。		
2	法の適用と解釈	2	法の適用と解釈。		
3	基本的人権の概要	2	人権が成立するまでの歴史と変遷。		
4	自己決定権	2	自己決定権の種類と問題点。		
5	表現の自由	2	創作活動と人権の関係。		
6	生存権	2	生活保護の現状と問題。		
7	損害賠償	2	損害賠償のプロセスについて理解できる。		
8	我が国の裁判制度	2	裁判の種類、やり方、裁判員制度について。		
9	カード社会の問題点	2	各種カードの特徴と留意点。		
10	自己破産	2	自己破産の手続き。		
11	相続問題	2	相続問題と現行制度。		
12	交通事故	2	事故の法的処理。		
13	悪徳商法	2	悪徳商法の手口と対策。		
14	少年犯罪	2	少年犯罪の問題点。		
15	女性と法律	2	ストーカー規制法、DV防止法について。		
<b>前期期末試験</b>					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	法律の基礎的概念を正確に理解できること、法律の果たす役割・機能等を理解できること、憲法と民法の具体的事例の中から法的問題点を把握し、法的解決策を論理的に提示できることで、学習・教育目標のA-1の達成とする。				
成績評価	定期試験の点数で成績を評価する。				
教材	「新レッスン法学」(嵯峨野書院発行)				
オフィスアワー	授業の前後に対応します。				